


様式第2号(第3条関係)

平成30年12月28日

篠山市議会議長 様

会派名 ー  
代表者名 ー  
又は会派無所属議員の氏名 向井 千尋 

政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類: 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動  
その他 ( )
2. 活動期間: 平成30年12月8日
3. 場 所: 丹波認知症疾患医療センター  
丹波市氷上町絹山 513J
4. 活動者: 向井千尋
5. 活動の概要: 別紙参照
6. 考 察: 別紙参照
7. 活動に要した費用:

費目	詳細	金額	備考
研修費	旅費	1,116	自宅~同センター74km 74km/ (10km/2) *@150
〃	お土産代	3,180	

政務活動調査研究報告書

報告者	向井 千尋
日時・場所	2018年12月8日(土) 午後1時～2時 丹波認知症疾患医療センター
調査研究名	医療相談や鑑別診断等の通院状況や地域への認知症理解等の啓発活動の現状」について
	<p>○センター長、福井辰彦医師、吉良相談員に聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>認知症の相談、診断件数</b>  H29年度診断実績：39件  〃 相談実績：251件（丹波市178件、篠山市46件、ほか27件）</li> <li>・ <b>診断による認知症状の内訳</b>  ⇒アルツハイマー型が39件のうち6～7割を占める。</li> <li>・ <b>相談の主な内容</b>  ⇒近年は、認知症の可能性を感じている方からの相談が増えているとともに、運転免許の返納についての相談も増えてきている。</li> <li>・ <b>行政との連携</b>  ⇒認知症対策ネットワーク会議（年1回）、こころの相談、連絡会等</li> <li>・ <b>医療機関との連携</b>  ⇒情報提供書でのやり取りが中心。主治医との連携は今後の課題。</li> <li>・ <b>認知症理解のための啓発の取り組みと課題</b>  ⇒医療従事者や地域包括センターを対象とした研修会を主催。また、認知症サポーター養成講座を積極的に行っており、認知症センターができて20年以上となる中、理解は進んでいる。</li> </ul> <p><b>* 考察</b></p> <p>丹波地域の認知症専門の医療機関ではあるが、篠山市民の利用が少ない現状は課題があると考えます。また、近年では、早期発見・早期治療のケースが増えているとの傾向は、これまでの認知症への理解と啓発の取り組みの成果であると言える。行政や医療機関、福祉機関の連携が、早期治療のカギであり、今後の課題である。</p> <p>今回の調査から得た課題を踏まえると、身近な距離にある医療機関において、認知症センターの機能をもつことが、望ましいかたちであると考えます。市の福祉施策の状況を鑑みながら、研究を続けたい。</p>

毎度有難うございます

純手焼  
おかき **広岡製菓**

TEL: 079-552-0515

2018年12月 8日(土)

お菓子 ¥3,180内

小計 ¥3,180  
内税対象額 8% ¥3,180  
(内税額 8% ¥235)

商品点数: 1

合計 ¥3,180  
現金 ¥10,200  
お釣り ¥7,020

午前11時15分

0001#000001 担当者01